

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 事業の目的

かがやきプラザ内に設置された相談センターにおいて、高齢者の生活や介護等様々な内容の相談に対し24時間365日ワンストップで対応するとともに、医療・介護の連携支援や、各種サービスのコーディネートを行うことにより、高齢者及びその家族が安全に安心して暮らせる体制を確保する。

2. 業務内容

- ア 総合相談支援業務
- イ 医療・介護の連携支援業務
- ウ 緊急対応業務
- エ 認知症支援業務
- オ 介護人材等育成支援業務
- カ 各種サービスの利用申請及び手続きの受付業務
- キ 高齢者あんしんセンターの支援業務
- ク 上記に付随する業務全般

3. 上記の業務内容に付随する業務全般について

- ア 本業務は、あくまでも当法人が専門性を発揮して、独立して行うものであることから、区との情報共有・意見交換には、当法人の業務責任者もしくは副業務責任者が必ず立ち会うとともに、職務執行者への指揮命令は、業務責任者（もしくは副業務責任者）が行える体制を整備・維持する。
- イ 高齢者あんしんセンター神田と情報共有を図り、連携して業務を実施する。
- ウ 麹町地区担当相談センター（東京栄和会）と、相互に連携協力しながら、24時間365日、業務を迅速かつ適切に遂行する。

施設の取組

1. 千代田区保健福祉部との連携方法の確立

独立した相談機関でありながら、千代田区の窓口としての機能を持ちつつ、福祉事務所としての権限を持たない部署として、実務の執行にあたっては解決すべき様々な課題がある。丁寧に実績を積み上げながら解決方法を探っていく。

2. 社会福祉協議会との連携

地域福祉は、長年地域に根づいてきた「ちよだ社協」の協力なくしては成り立たない。在宅介護支援センターの時代から、高齢者の個別課題解決において蓄積してきたノウハウと、「地域作り」を課題としてきた社会福祉協議会のノウハウを提供し合い、新たな協同体制を作っていく。

3. 九段坂病院との連携

合築されている九段坂病院の機能を最大限生かせる具体的な方法を作っていく。

4. 地域包括ケア体制の模索から構築

多様な地域のニーズを埋める「多様な形態の社会資源」を見つけ、育て、普及していくことが、これからの地域支援に求められる。5年、10年先を見越した視点で、長期的・戦略的に検討していく。

